

🌸 卒業おめでとうございます 🌸

旅立つみなさんにおすすめの本を紹介します。

	<p>『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』</p> <p>くさばみよしみ編 【519 頁】</p> <p>わたしは、自分を貧しいとは思っていない。 いまあるもので満足しているだけなんだ。</p> <p>ホセ・ムヒカ 第40代ウルグアイ大統領。2012年ブラジルで行われた国連会議のスピーチが世界から注目され「世界でいちばん貧しい大統領」として給料のほとんどを寄付している質素な生活も話題になる。『世界の危機的な問題の原因とは、わたしたちがめざしてきた幸せの中身にあるのです。見直さなければならぬのはわたしたち自身の生き方なのです。』一度読んでみてください。大切なことがスピーチにたくさんつまっています。</p>
	<p>『なぜ私たちは理系を選んだのか』</p> <p>榎 太一 著 【407 頁】</p> <p>進路選択のヒントに！</p> <p>元日本テレビアナウンサーの榎太一さんは、理系の大学院を卒業し、日本テレビに入社退職。サイエンスが大好きなのに理系の勉強が苦手、「心は理系・体は文系」という不一致に悩んでいました。宇宙飛行士、水族館職員、エンジニア…さまざまな理系の分野で活躍している人たちにインタビュー。「文系か理系か」より「将来やりたいことに必要な科目」を考えて選ぶ。「自分がやりたいこと」を学ぶことに背中を押してくれる一冊です。</p>
	<p>『ミライの授業』</p> <p>瀧本 哲史 著 【159 頁】</p> <p>きみたちには未来がある！可能性がある！</p> <p>歴史上の人物たちについて触れているが、「過去」の話をしていない。「未来」つながる話だけをしている。幾多の困難を乗り越えた変革者たちで、未来をつくった人々にふれた特別授業。巻末には、ミライの図書館として、関連する本も著者が紹介しています。『たった一度しかない人生は、今日という日を変えられることができるのだ。』14歳のみなさんと、かつて14歳だった大人のたちに読んでほしい一冊です。</p>

🌸みなさんが、これからも素敵な本と出会いますように。 学校図書館司書 上野